



2023年度 年主題くともにつむぎだす～希望の中で～

0・1・2歳児 11月主題「みつける／どれがいい」
月のねがい
◎お祈りやさんびかを通して心地よさを感じる。
◎興味、探究心が深まり、活動的になる。
◎たくさんの自然物に触れ、喜ぶ。
◎神さまを身近に感じて喜んで賛美やお祈りをする。
◎自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す。
◎自然の恵みを感じまた触れて遊びや生活の中に取り入れる

3・4・5歳児 11月主題「深まる」
月のねがい
◎神さまが全てのことを備えていくくださることを知り、感謝する。
◎友だちと同じイメージをもって、遊びを続けることもうれしくなる。
◎秋の自然物を集めたり、触れたり、並べたりして楽しむ。
◎五感を通して秋の実りや季節の移り変わりを感じ、神さまへの感謝の思いをわかちあう。◎思いを伝えあい遊ぶ中で、うまくいかなくて困る経験や、気持ちが通じ合う喜びを感じる。

今月の聖句 「あなたの隣人を 自分自身のように愛しなさい。」 レビ19:18

「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」。これは、聖書が教える中心的教えの一つです。最初にこの教えを受け取ったのは、今日「ユダヤ人」と呼ばれることになるイスラエルの人々でした。今月7日、ガザ地区を中心に活動するイスラム武装組織「ハマス」が2千発のロケット弾をイスラエルに向けて発射し、双方の攻撃が激化しています。ガザ地区の面積はほぼ種子島と等しいそうですが、そこに220万人ものパレスチナ人が生活しています。ガザ地区・イスラエル双方合わせて、すでに7100人の死者が出てしまいました。隣人同士であるにも関わらず、憎しみと殺戮の連鎖が続いています。悲しいことで、ニュースに触れる度に心が痛みます。

イエス・キリストは、ユダヤの宗教指導者らに「隣人とは誰ですか？」と聞かれた際、有名な「良きサマリア人」の譬えを話されました。ユダヤ人から見下されていたサマリア人が、傷付いたユダヤ人を助けてやったという話です。頭ではよく理解出来るのです。けれども、これまでの歴史的な背景や、個人的な恨みなどから、なかなかそれが実行に移されずに世の中は歴史を刻んできました。「負の連鎖」を断ち切れずに、今もウクライナ・ロシア戦争、ハマス・イスラエル戦争を起こしてまいりました。そして、戦争によって犠牲となるのは、いつも社会的弱者です。戦争は人間の罪が行き着くところ、その悪が実を結んでしまうところなのです。

なんでもい、日頃から小さな隣人愛を持ちましょう。「負の連鎖」を断ち切るには、待ってては出来ません。自分からしなければ、その思いを持たなければなりません。 協力牧師 池田基宣



今年度の運動会は秋晴れに恵まれ、多くの皆さまの声援をいただき感謝でした。先日の予想外の突風では驚かされましたが、その後も好天が続いています。運動会では自分の体の成長を感じた後は、スーパと飯ごう米を食べたり、遠足に出かけたお祭りを楽しんだり、スポーツと食欲の秋を楽しむことができました。そろそろコロナやインフルエンザが気になる季節になってきます。そして、気持ちは早くもクリスマス。皆さんと共に今年もお祝いできることを心から祈っています。

ここ数年、十一月の当欄では幼児の体の発達や運動について取り上げてきました。今回は子どもたちの「散歩」について考えてみたいと思います。デスクワークの多い私も日々運動不足を実感している身。週に一回は一時間ほど散歩に出かけます。が、毎日少しでも歩かなければと思うてはいるのですが。

「日本ウォーキング協会」では、歩くことによって子ども達の心と体を育むことを「歩育」と呼んでいるようです。それではなぜ歩くことが子ども達の発達にいいのでしょうか。散歩には、大きく分けて三つの効果があるとされています。一つには、運動能力が高まり、体力がつくこと。歩行は全身運動なんです。第二の心臓とも言われる足を動かすことで血行が良くなり、身体を温める効果や食欲促進、安眠効果も期待できます。また、散歩しながらジャンプしたり走ったりすることでバランス感覚が鍛えられ、運動機能の発達にも繋がります。歩くだけでも子どもの運動能力が育まれるだけでなく、大人も子ども達の脳や体の成長を促すことができます。大人にとっては、五感を刺激し、脳の成長を促すことなんです。大人にとっては、五感を刺激し、脳の成長を促すことなんです。

前日の風景が、子どもにとっては驚くべき大発見であるかもしれませんが、屋外には、家の中にはない刺激がたくさんあるため、五感全てが刺激されます。五感を使うと脳が刺激され、想像力や記憶力、発想力が育まれるとされています。三つ目の効果は血行を促進し、セロトニンで心が安らぐことです。散歩をする心が安らぐ。これには、セロトニンという脳内物質が大きく関わっています。「幸せホルモン」とも呼ばれるセロトニンは、一定リズムの運動や定期的な適度な運動、太陽を浴びることで分泌され、心の安定に欠かせません。セロトニンは、体温調節、中枢に深く関わっており、適度に分泌されることで血行が改善され、寝つきがよく、効果も。逆にセロトニンが足りなくなると自律神経が乱れ、イライラしたり、やる気がなくなったりしてしまふことがあるようです。たまには家族で、目的のない散歩も楽しんでみては如何でしょうか。

園では運動遊びや体操を通して身体機能を高めています。が、一番自然に取り込めるのは、やはり自由遊びに集中しているときで、自然に走り回ったり、起伏のある坂道や土手の上り下り、雲梯渡りやスクーター漕ぎなど、指示もなく友だちと夢中になって取り組んでいる遊びの中こそ、健康やかな体は作られていくと思います。寒暖の差を感じるこの頃。突然の発熱も多うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいりましょう。

学園長



令和6年度入園説明会
11月25日(土)
13時30分より
1号入園願書受付開始
12月1日(金)
ご紹介を宜しくお願いします！

11月の行事予定

9日(木)	10・11月生誕生会(2才以上)
10日(金)	給食バイキング(3才以上)
11日(土)	役員会
15日(水)	持久走試走
18日(土)	持久走大会・職員研修
20日(月)	持久走予備日
25日(土)	入園説明会 13時半～
29日(水)	クリスマス会 予行・弁当日

12月の行事予定

9日(土)	クリスマス会
15日(金)	もちつき大会
19日(火)	12・1月生誕生会(2才以上)
21日(木)	2学期終園式
28日(木)	弁当日



うちの子はどんなタイプ??

子どものタイプ別による

- 引っ込み思案タイプ** → 大人の関わり方
結果より経過を褒める
「リレー1番だったね!」
→ 「一生懸命走っていたね!」
※自信が持てる声かけ
答えは1つではなく様々な考え方がることを伝える。
- ロベタタイプ**
(自分を表現する事が苦手・自信がない・言葉を吸収している時期) → 子どもの意見を聞く質問をする。
言葉を習得できるようにたくさん話しかけたりお話を読んであげたりする。
- 人の話を聞かない! 自分勝手タイプ**
視野がまだ広がっていません。 → 折り紙をさせてみる
「角と角を合わせて折ってね」→ **指先調整力**が高い子は人の話を聞いて、角と角をしっかりと折り合わせることができる。

自分のことはじぶんでします!!

園では、子どもたちと月ごとのお言葉を覚えていきます。

11月は「**自分のことは自分でします**」なのですが、毎日の生活の中で、「自分で自分のことをしている」「お手伝いを自分の役割として行っている」「自分で靴を履く」などをしていれば、自然と指先調整力は付いてくるのです。つまり、「肉体的にも精神的にも『自立』ができています」のです。自立ができていないと、人のことに目や耳を傾けることができます。ですので、人の話を聞かない＝落ち着きがない＝自立ができていない＝指先調整力が育っていないということになります。

逆に言うと、まず、**指先調整力を育てれば良い**のです。

まずは、・ボタンを留める
・ひもを結ぶ
・園に行く準備をする

※身の周りの事を自分で行う

ただし、「やりなさい」という逆効果。今はまだ、指先の力が無いので、できる力が無い状態です。「ゆっくりでいいからやってみて! あなたならきっとできるよ!」と、やり方を伝えて自分でチャレンジしてもらうのです。その時の声かけは、怒らず、励まします。できてもできなくても「頑張ったね!」と褒めて下さい。**自立を助けるとは、自立の仕方を伝えて、後は励まし、待つことです。** 園長